

方面 秋季演習場整備
1 師団 対空実射訓練 (1面)
12 旅団 旅団重迫撃砲競技会 (3面)
1 施設団 滑走路応急復旧訓練 (4面)
関東補処 処長初度視察 (5面)



令和6年10月25日 第1077号

総監統率方針「強靭な東部方面隊の創造」
総監要望事項「万事作戦を基準」

陸上自衛隊東部方面隊広報紙
発行所: 方面総監部広報室
住所: 東京都練馬区大泉学園町
専用線: 8-37-2446



機動路の除草 (13普連)



幕僚副長 (防衛)への状況報告 (1師団)



民生品を活用した草刈り (東特連)



情報小隊によるドローン偵察 (34普連)



ドーザを使用し機動路整備 (12施)



樹木の伐採 (2普連)

方面隊は9月4日から
13日までの間、相馬原演
習場及び関山演習場整備
(担任官第12旅団長前島
9月6日から15日までの間
北富士演習場整備
将補以下約1500人)、

陸将以下約1250人)
を実施した。
本整備は7月に行われ
た第1回演習場等整備推
進委員会において、使用
統制部隊と整備部隊との
式YS-87が予定され

間で運用ニーズ及び整備
計画の整合を図り、それ
に基づく整備を実施
したものである。

また本年は陸上自衛隊
演習自衛隊記念日観闘
式YS-87が予定され
間で運用ニーズ及び整備
計画の整合を図り、それ
に基づく整備を実施
したものである。

各部隊は連日の猛暑、ス
ズメバチの繁殖期による
活発な妨害に悩まされ
ながら、適宜、昼間の作業

で運用ニーズ及び整備
計画の整合を図り、それ
に基づく整備を実施
したものである。

各部隊は連日の猛暑、ス
ズメバチの繁殖期による
活発な妨害に悩まされ
ながら、適宜、昼間の作業

効率化で隊員負担軽減も

秋季演習場整備を実施

中断、整備順序の入れ替えなど計画を変更して対応した。この際ICT(情報技術)による効率化、民生品の活用による整備の恒久化に取り組み、隊員負担を軽減しつつ、我々の道場たる演習場の整備を完遂した。

本整備間、演習場等整備推進委員長(幕僚副長(防衛)久保将補)を派遣し、整備状況及び各部隊の取組みを確認し、方隊全体に共有を図った。

関連④面

東方ZEPPIN!カップ2024を開催

テーマは「隊員に喜ばれる丼ぶり」

食べたい1品に投票を

投票は11月11日~21日を予定

①新発田	②高田	③松本	④相馬原	⑤新町	⑥北宇都宮	⑦宇都宮
新発田タレカツ丼	カツカレーラーメン丼	夜明けのアルプス丼	ぶつとべ丼	トリブルミートのとろとろ卵とじ丼	青じそチーズカツ丼	雪様(らいさま)丼
⑧小平	⑨東立川	⑩立川	⑪練馬	⑫用賀	⑬三宿	⑭十条
小平二郎系一橋丼	濃厚しみだれデミカツどーーん!	TACHIKAWA今年こそは"勝丼"☆	ぶた天丼	用賀Mahalo丼	あの有名店"格之進ハンバーグ"とのコラボ丼	【十条】三幕丼
⑮大宮	⑯朝霞	⑰市ヶ谷	⑲北富士	⑳富士	㉑駒門	㉒板妻
ふわ玉鶏照り丼	最強ニンニクホルモン丼	ソースで勝丼	駐屯地No.1丼「ねぎ塩豚丼」	富士のすた丼	カレー風味から揚げのサラダ丼	板妻にんにく醤油かつ丼
㉓滝ヶ原	㉔武山	㉕久里浜	㉖座間	㉗横浜	㉘勝田	㉙霞ヶ浦
滝ヶ原ハラちゃんスタミナ丼	武山NO.1ドカ食い丼	サンマー丼	大人のお子さまランチ丼	はいから丼~開港の街横浜~	勝田もんどうろ丼	月見にんにく唐スタ丼
㉚古河	㉛土浦	㉜松戸	㉝習志野	㉞下志津	㉟木更津	
なすとぶたばらのかば焼き丼	鶏カラッと親子丼	ガツ丼	アーモンドからめ丼	胡麻香るチキンソースカツ丼	がつり!!豚スタ丼	

方面隊は「隊員に喜ばれる丼ぶり」をテーマとして令和6年度東方ZEPPIN!カップを開催する。丼ぶりは隊員に人気があり、創意工夫の自由度が高いため、献立のバリエーション化及び魅力化を狙いとしている。本年度は市ヶ谷駐屯地もゲスト参加し、全34個献立から隊員の投票結果に基づいて上位3品の優秀献立を選出する。本年度の優秀献立は、純粹に隊員投票の結果に基づいて決定する。隊員投票は11月11日から21日の約2週間を予定しており、是非とも食べたい1品に投票して頂きたい。優秀献立に選ばれた献立は、各駐屯地食堂で令和7年2月頃の提供を予定している。

目標達成のため内閣・方面等が一丸

地方協力本部長会議を開催



地本長等に対する施策の説明

総監部は9月25日・26日の両日、朝霞駐屯地において1都10県にある各地方協力本部長、内閣・海上・航空幕僚監部及び部隊の募集担当者を参考し、令和6年度第2回地方協力本部長会議を実施した。

会議では堅密な課題で、業務の強化化」について意見交換し、東方の募集態勢強化の資を得ることがでめとした関係者の真摯な

く。今後も総監部は、地方協力本部、内閣及び部隊と連携しつつ、執念をもつて今年度の募集等の目標達成に向け邁進していく



打楽器の視覚的効果を盛り込み作曲した陣内3曹



東京文化会館大ホールで行われた定期演奏会

東部方面音楽隊は9月16日、東京文化会館大ホール（台東区上野）において第82回定期演奏会を実施した。

本演奏会は国歌「君が代」で幕を開け、第1部

はアメリカの作曲家が日本を題材にした作品を披露した。ジョン・ウイリアムズが日本の寺院の鐘に触発され作曲した「雅の鐘」、サミュエル・ハイ

ゾが童謡「砂山」を題材に作曲した「交響曲

第4番（ブックマーク・ス・フロム・ジャパン）による幻想曲に引き続き、日本を代表する浮世絵師（葛飾北斎と歌川広重）の絵からインスピレーションを得てジュリー・ジ

ルーが作曲した「内3曹の躍動する打楽器曲」を初演し、会場は陣内3曹の躍動する打楽器の演奏に魅了され、大いに盛り上がりを見せた。

2曲目は故郷を懐かしく思い作曲したオーストラリアのパーシー・グレンジャーの「コロニアアルソング」、3曲目は本演奏会委嘱作品で日本吹奏樂界の巨匠、星出尚志氏がフィリピンの民族音楽・踊り・景色を題材に作曲した「フィリピンからの絵葉書」を初演し、最後はアメリカのアルフレッド・リードの「我ら汝を褒め称えん」と訳される「アレルヤ！ラウデアムス・ヂ」で締めくくり、演奏会を盛会のうちに終了した。

演奏会終了後のロビーでは、詰めかけた約2千人男性1人が受講した。

ネイルリストとは爪を美しく健康に保ち、髪や洋服の色に合わせてマニキュアを塗ったたり、人工爪を装着するなど、さまざまなデザインを施し、爪を美しく見

講師による講義修了後、受講者はネイルリスト技能検定試験3級等を受験し、同技能保有者として再就職を自指す。

午前中に実施したヘリコプター体験搭乗は、東部方面航空隊から支援を受けた多用途ヘリコプター（UH-1J）で行い、173人の応募の中から、当選した108人が体験した。また来館者から希望者を募ってヘリコプター見学ツアーを行い、ヘリコプターの離着陸を間近で見学してもらった。

朝霞駐屯地を離陸したヘリコプターは勢いよく大空へ飛び立つて、搭乗者からは「航空機の速さに驚いた」「景色がとてもきれいでいた」との感想が多数あった。

午後からは第1師団の支援を受け、高機動車体験搭乗を実施した。本体験搭乗は先着順で行われ、定員に満たなくとも逐次出発し、搭乗者の待機時間を短縮することにより、対象年齢小学生以上と制限はあるものの、多くの来館者が楽しむことができた。

また終日、東部方面衛生隊から支援を受け、「野外手術システム」の装備品展示を行った。来館者からは自衛隊の能力・装備に关心を持ったとの感想が聞かれた。

東部方面音楽隊

東京文化会館で演奏会
陣内3曹作の曲を初演

隊に所属する打楽器奏者の陣内3曹が思う日本の伝統・情景を捉え、打楽器の視覚的効果を盛り込み作曲した「吹奏楽と打楽器のための幻想協奏曲」を初演し、会場は陣内3曹の躍動する打楽器の演奏に魅了され、大いに盛り上がりを見せた。

2曲目は故郷を懐かしく思い作曲したオーストラリアのパーシー・グレンジャーの「コロニアアルソング」、3曲目は本演奏会委嘱作品で日本吹奏樂界の巨匠、星出尚志氏がフィリピンの民族音楽・踊り・景色を題材に作曲した「フィリピンからの絵葉書」を初演し、最後はアメリカのアルフレッド・リードの「我ら汝を褒め称えん」と訳される「アレルヤ！ラウデアムス・ヂ」で締めくくり、演奏会を盛会のうちに終了した。

東部方面音楽隊は、今後も方面隊における広報の一翼を担うべく、国民に対し演奏を通じて親近感を醸成し、防衛基盤の育成に寄与していく。

女性隊員から支援受け実習も退職者向けネイリスト技能講座

モデル隊員への施術

総監部は9月4日から25日までの間、朝霞駐屯地において令和6年度外技能訓練「ネイリスト技能講座」を実施し、方外技能訓練「ネイリスト技能講座」を委託、日本ネイリスト協会の認定資格を有するネイリストアカデミーに講習を受ける。受講者は、ネイルサロンに来たように爪が華やかになった」と好評であった。受講者からは「フラワーアートの花の大きさやバランスが難しかった」「相手の意図をくんだ」といった感想が聞かれた。

訓練の後半には実際のモデルとして朝霞駐屯地所在部隊の女性隊員の支援を受け、ネイル施術の実習を行った。受講者は懸命に施術し、モデル隊員からは、「ネイルサロンに来たようだ」と好評であった。受講者からは「フラワーアートの花の大きさやバランスが難しかった」「相手の意図をくんだ」といった感想が聞かれた。

訓練の後半には実際のモデルとして朝霞駐屯地所在部隊の女性隊員の支援を受け、ネイル施術の実習を行った。受講者は懸命に施術し、モデル隊員からは、「ネイルサロンに来たようだ」と好評であった。受講者からは「フラワーアートの花の大きさやバランスが難しかった」「相手の意図をくんだ」といった感想が聞かれた。



大空へ飛び立つヘリコプターを見送る来館者



多くの来館者が楽しんだ高機動車体験搭乗

広報センターイベント
いざ大空へヘリ体験搭乗

陸上自衛隊広報センターは9月23日、ヘリコプター等体験搭乗を実施した。ヘリコプター体験搭乗を午前中に、午後からは高機動車体験搭乗を実施することともに、終日、野外手術システムの装備品展示を行った。

午前中に実施したヘリコプター体験搭乗は、東部方面航空隊から支援を受けた多用途ヘリコプター（UH-1J）で行い、173人の応募の中から、当選した108人が体験した。また来館者から希望者を募ってヘリコプター見学ツアーを行い、ヘリコプターの離着陸を間近で見学してもらった。

朝霞駐屯地を離陸したヘリコプターは勢いよく大空へ飛び立つて、搭乗者からは「航空機の速さに驚いた」「景色がとてもきれいでいた」との感想が多数あった。

午後からは第1師団の支援を受け、高機動

車体験搭乗を実施した。本体験搭乗は先着順で行われ、定員に満たなくとも逐次出発し、搭乗者の待機時間を短縮することにより、対象年齢小学生以上と制限はあるものの、多くの来館者が楽しむことができた。

また終日、東部方面衛生隊から支援を受け、「野外手術システム」の装備品展示を行った。来館者からは自衛隊の能力・装備に关心を持ったとの感想が聞かれた。

要撃成功！1都6県の空に隙なし

近・短SAM及びHMG対空実射訓練



班長と射手2人が連携し照準・射撃を行い見事に要撃を成功（近SAM）



頭号 男子
The Man of 1st Division

鏡師博1等陸曹
第32普通科連隊

「娘は金メダリスト」

本紙1071号（4月号）のマイファミリーで紹介した鏡1曹の続報をお届けします。先号で「五輪を制するお届けします。が最大の目標、娘を引き続き見守っていきたい」と話していた鏡1曹の娘、8月7日に渡仏して10日の第1回戦から現地で応援していました。初戦に向かう優翔に「楽しんで来い」と声をかけられると「雰囲気を楽しんでいく」と笑顔で答えてくれた。

女子最重級で先輩方がお届けします。が最大の目標、娘を引き続き見守っていきたい」と話していた鏡1曹の娘、8月7日に渡仏して10日の第1回戦から現地で応援していました。初戦に向かう優翔に「楽しんで来い」と声をかけられると「雰囲気を楽しんでいく」と笑顔で答えてくれた。



水平斜め侵入目標へのHMGによる追隨射撃



近・短SAM
実射訓練公開中
YouTube

【近・短SAM対空実射】
第1高射特科大隊は年度当初から、首都防空における作戦遂行能力の向上を図るべく、逃げていく標的機に対する射撃要領を段階的に演練し、今年度の対空実射では度を向上させてきた。
短SAM射撃では高射部小競り合い新標的機で行われ、レーダーが反射する面積が

Mとも同時射撃し、要撃を見事に成功させ本訓練を終了した。
【HMG対空実射】
師団隸下部隊及び大臣・方面直轄部隊の対空火器

各部隊から選抜された隊員は3人一組となり、組長の号令・誘導の射撃指揮、弾薬手の適切な補助、目標の追隨等、三者が連携しつつ対空射撃を行い、目標機1機の撃墜（2発の命中弾）という成果を得て訓練を終了した。

装備員に対して対空実射訓練（12・7mm重機関銃）を実施し、対空射撃時の射弾の誘導要領及び組内（組長、射手及び弾薬手）の連携要領を修得させることができた。

各隊員はこれまでの練成訓練の成果を存分に發揮し、近SAM及び短SAM射撃では高射部

隊初となる逃げる目標に対する実射という困難な射撃であった。しかし、度を図るべく、逃げていく標的機に対する射撃要領を段階的に演練し、今年度の対空実射では度を向上させてきた。

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度



リース器材による整備(関山演習場整備)

演習場機能の維持・向上 方面隊秋季演習場定期整備

旅団は9月4日から13日までの間、相馬原演習場、関山演習場及び大日原演習場において令和6年度方面隊秋季演習場定期整備を実施。本整備において旅団の任務遂行能力向上のため、基盤整備及び演習場の維持管理整備を実施し、MCV機動路整備、MCV射場整備、迫撃砲射場整備を行った。



緊要地形整備(相馬原演習場)



射撃場整備(大日原演習場)

旅団は9月4日から13日までの間、相馬原演習場、関山演習場及び大日原演習場において令和6年度方面隊秋季演習場定期整備を実施した。

完成することができた。またリース器材を使用して効率的かつ効果的に除草・伐採作業を行った。また整備期間中、猛暑が続く中の作業となつたため、WBGT指数の高い時間帯の作業を最大限考慮し、熱中症対策に万全を期して、無事演习整備任務を完遂させた。

原子力災害対処能力の向上 新潟県原子力防災訓練

旅団は9月4日から13日までの間、相馬原演習場、関山演習場及び大日原演習場において令和6年度方面隊秋季演習場定期整備を実施した。本整備において旅団の任務遂行能力向上のため、基盤整備及び演習場の維持管理整備を実施し、MCV機動路整備、MCV射場整備、迫撃砲射場整備を行った。



連結・十字結び(12施)

部隊配属おめでとう！新隊員教育修了

旅団は9月12日、相馬原飛行場で10月に実施予定の長野県総合防災訓練において、電力会社の高圧電源車の懸吊空輸訓練検証を実施した。

旅団は9月12日、柏崎市で実施された令和6年度新潟県原子力防災訓練に参加した。本訓練は新潟県の主催で行われ、大規模な地震により孤立地域及び原子力災害が発生した想定のもと、被災した住民を高機動車及びUH-60JAを用いて安全な地域に避難させる一連の行動を実施した。



35km行進訓練(2普通科連)



基本機甲(装填手)総合訓練(12偵戦大)



需品科総合訓練(12後支)



120mm迫撃砲総合訓練(30普通科連)



軽火器総合訓練(13普通科連)



120mm迫撃砲射撃の瞬間



有線構成の部



測量の部

旅団は9月25日から27日までの間、関山演習場において令和6年度旅団重迫撃砲競技会を実施し、重迫撃砲中隊に求められる射撃精度の維持・向上を図った。

本競技会は旅団隸下の各連隊の新編(本部管理中隊重迫撃砲小隊からの改編)後に初めて行う重迫撃砲競技会となつた。

開会式で旅団長は「安全の確保」「射撃の速度と精度の追求」の2点を要望。「重迫撃砲中隊新編か

ら1年半、これまで各連隊が参加して実施され、令和4年度末の重迫撃砲中隊の新編(本部管理中隊重迫撃砲小隊からの改編)後に初めて行う重迫撃砲競技会となつた。

開会式で旅団長は「安全の確保」「射撃の速度と精度の追求」の2点を要望。「重迫撃砲中隊新編か

構成、測量の3つの部門

令和6年度旅団重迫撃砲競技会

30普連、13普連、2普連の順で行った。各連隊はこれまで積み上げてきた訓練成果を遺憾なく發揮し、どの部門においても満点に近い評価を得て、若干のミスや速度の遅延が勝敗を分ける結果となつた。

有線構成の部は30普連、測量の部は2普連が優勝。実弾射撃の部は13普連が併せて総合優勝

において精度及び速度を総合評価して勝敗を決定するもので、抽選の結果

も13普連が獲得した。
旅団は普通科連隊が保有する全ての火器を使

るため、各普通科中隊が競技会を計画し、普通科連隊の総合戦闘射撃能

力の向上を図っていく。

旅団は8月28日から9月10日まで、岩手駐屯地及び六ヶ所対空実射練場において、令和6年度12.7mm重機関銃(以下HMG)対空実射訓練を実施した。

本訓練は第2普通科連隊長を担任し、旅団隸下部隊、大臣・方面直轄部隊のHMGを装備する部隊要員(78人)に対し、対空射撃時の弾薬の誘導要領、組長、射手及び弾薬手の連携要領を修得させることを目的に行い、対空戦闘能力の向上を図った。

本訓練は第13普通科連隊及び第12普通科連隊、ヘリコプター隊が参加し、能登半島地震の教訓により災害時孤立した地域へ同車両を空輸する想定で行われ、中部電力の高压電源車をCH-47JAが機外懸吊し、懸吊準備を含む一連の要領を確認した。なお東京電力及び関西電力の各関連会社が本訓練を研修し、災害時における関係部外機関等との連携要領の深化を図った。

旅団の隸下部隊が7月から実施していた新隊員特技課程及び一般曹候補生課程(後期)の教育が、8月下旬から9月中旬にかけて修了式を迎えた。新隊員はそれぞれの部隊に配属された。



対空戦闘能力の向上

令和6年度12.7mm重機関銃対空実射訓練

旅団は9月12日、相馬原飛行場で10月に実施予定の長野県総合防災訓練において、電力会社の高圧電源車の懸吊空輸訓練検証を実施した。

旅団は9月12日、柏崎市で実施された令和6年度新潟県原子力防災訓練に参加した。本訓練は新潟県の主催で行われ、大規模な地震により孤立地域及び原子力災害が発生した想定のもと、被災した住民を高機動車及びUH-60JAを用いて安全な地域に避難させる一連の行動を実施した。

参加した隊員は、航空機の降着地域の安全確認、降着時の誘導、航空機への避難住民の誘導及び車両による避難行動を実施した。

本訓練は新潟県の主催で行われ、大規模な地震により孤立地域及び原子力災害が発生した想定のもと、被災した住民を高機動車及びUH-60JAを用いて安全な地域に避難させる一連の行動を実施した。



各区隊旗返納の様子



施設団教育隊の集合写真



同期の旅立ち

祝古河駐屯地創設70周年



納涼大会を開催 「協力と信頼」地域と共に



櫓を囲み踊る来場者と隊員

霞ヶ浦駐屯地は8月28日、納涼大会を開催した。台風10号の接近により開催が危ぶまれたが、当日は天候に恵まれ多くの来場者が訪れた。納涼大会は司令挨拶に始まり、駐屯地ではおなじみの霞ヶ浦自衛隊かっぱ連による「かっぱ踊り」や部外団体によるダンスや踊りによって会場は大いにぎわった。大会の最後には、5年振りに花火が打ち上げられ、夏の夜空を彩り大会に花を添えた。



コンクリートの破碎・除去の展示



コンクリートバイブレーター（気泡抜き）作業の実習



コンクリート打設（形成）の実習

新隊員後期教育修了！ 64人全員が部隊配置

施設団は7月2日から9月23日までの約3ヶ月間、古河駐屯地において一般曹候補生課程「施設」と新隊員特技課程である第101施設器材隊長の要望事項「方面施設」及び新隊員特技課程

新隊員64人は担任官で新隊員特有の若さと爽やかさを武器に日々施設科隊員としての知識及び技術を習得した。教育問、同期の絆を深め仲間を大切にし、1人の除隊者も出すことなく教育を修了した。

としての誇りの堅持、技術の鍛錬、「絆を大切に」の下、新隊員特有の若さと爽やかさを武器に日々施設科隊員としての知識及び技術を習得した。教育問、同期の絆を深め仲間を大切にし、1人の除隊者も出すことなく教育を修了した。

また本教育では施設科隊員としての基本的知識・技能を修得させるため、団隸下部隊より選抜された情熱あふれた教官・助教要員を主体に教育隊を編成した。古河で受けられて良かつた。「施設科を希望して良かった」等の言葉を数多く聞くことができ、本教育の成果は大なるものであった。

同期64人が今後も仲間として、さらに良きライバルとして、互いに切磋琢磨しつつ各部隊で活躍することを期待する。

としての誇りの堅持、技術の鍛錬、「絆を大切に」の下、新隊員特有の若さと爽やかさを武器に日々施設科隊員としての知識及び技術を習得した。教育問、同期の絆を深め仲間を大切にし、1人の除隊者も出すことなく教育を修了した。

また本教育では施設科隊員としての基本的知識・技能を修得させるため、団隸下部隊より選抜された情熱あふれた教官・助教要員を主体に教育隊を編成した。古河で受けられて良かつた。「施設科を希望して良かった」等の言葉を数多く聞くことができ、本教育の成果は大なるものであつた。

同期64人が今後も仲間として、さらに良きライバルとして、互いに切磋琢磨しつつ各部隊で活躍することを期待する。

施設団は9月17日から20日までの間、高田駐屯地及び関山演習場において、滑走路応急復旧訓練を実施した。

本訓練は第5施設群が、年度当初より実施してきた航空自衛隊との協同訓練等で得た成果・教訓を団隸下部隊等に普及

することを目的とし、実員による展示・説明、実習及び現地研究会に区分して行われた。今回の訓練では悪天候としたコンクリートの生成

の中でも、実施要領を工夫し、精度の高い復旧作業を実施すること狙いとして、常に天候等を考慮して行われた。

言を得た。

団は引き続き、方面施設としての使命を全うで

きるよう、日々練度向上を図るとともに、施設技

術の鍛錬に努めていく所

存である。

及び打設作業を実施して

技術の向上を図った。

本訓練には空自の中部

航空施設隊も関係部隊と

して参加してもらい、助

言を得た。

団は引き続き、方面施

設としての使命を全うで

きるよう、日々練度向上を図るとともに、施設技

術の鍛錬に努めていく所

存である。

及び打設作業を実施して

技術の向上を図った。

本訓練には空自の中部

航空施設隊も関係部隊と

して参加してもらい、助

言を得た。

団は引き続き、方面施

設としての使命を全うで

きるよう、日々練度向上を図るとともに、施設技

術の鍛錬に努めていく所

存である。

及び打設作業を実施して

技術の向上を図った。

本訓練には空自の中部

航空施設隊も関係部隊と

して参加してもらい、助

言を得た。

団は引き続き、方面施

設としての使命を全うで

きるよう、日々練度向上を図るとともに、施設技

術の鍛錬に努めていく所

存である。

及び打設作業を実施して

技術の向上を図った。

本訓練には空自の中部

航空施設隊も関係部隊と

して参加してもらい、助

言を得た。

団は引き続き、方面施

設としての使命を全うで

きるよう、日々練度向上を図るとともに、施設技

術の鍛錬に努めていく所

存である。

及び打設作業を実施して

技術の向上を図った。

本訓練には空自の中部

航空施設隊も関係部隊と

して参加してもらい、助

言を得た。

団は引き続き、方面施

設としての使命を全うで

きるよう、日々練度向上を図るとともに、施設技

術の鍛錬に努めていく所

存である。

及び打設作業を実施して

技術の向上を図った。

本訓練には空自の中部

航空施設隊も関係部隊と

して参加してもらい、助

言を得た。

団は引き続き、方面施

設としての使命を全うで

きるよう、日々練度向上を図るとともに、施設技

術の鍛錬に努めていく所

存である。

及び打設作業を実施して

技術の向上を図った。

本訓練には空自の中部

航空施設隊も関係部隊と

して参加してもらい、助

言を得た。

団は引き続き、方面施

設としての使命を全うで

きるよう、日々練度向上を図るとともに、施設技

術の鍛錬に努めていく所

存である。

及び打設作業を実施して

技術の向上を図った。

本訓練には空自の中部

航空施設隊も関係部隊と

して参加してもらい、助

言を得た。

団は引き続き、方面施

設としての使命を全うで

きるよう、日々練度向上を図るとともに、施設技

術の鍛錬に努めていく所

存である。

及び打設作業を実施して

技術の向上を図った。

本訓練には空自の中部

航空施設隊も関係部隊と

して参加してもらい、助

言を得た。

団は引き続き、方面施

設としての使命を全うで

きるよう、日々練度向上を図るとともに、施設技

術の鍛錬に努めていく所

存である。

及び打設作業を実施して

技術の向上を図った。

本訓練には空自の中部

航空施設隊も関係部隊と

して参加してもらい、助

言を得た。

団は引き続き、方面施

設としての使命を全うで

きるよう、日々練度向上を図るとともに、施設技

術の鍛錬に努めていく所

存である。

及び打設作業を実施して

技術の向上を図った。

本訓練には空自の中部

航空施設隊も関係部隊と

して参加してもらい、助

言を得た。

団は引き続き、方面施

設としての使命を全うで

きるよう、日々練度向上を図るとともに、施設技

術の鍛錬に努めていく所

存である。

及び打設作業を実施して

情処隊

強靭な部隊を目指し隊員一丸

方面隊情報訓練に参加

東部方面情報処理隊は7月22日から27日までの間、東部方面隊が実施し、「万事作戦を基準」を旨

た令和6年度方面隊情報訓練に参加した。隊は各種器材の操作要領等を練成し、所望の練度に達することができた。

訓練に参加した隊員は昨年度から基本基礎を重視して演練してきたが、その成果を十分に発揮できたと思う。今後も着実に練度を積み上げ、方隊の任務達成に寄与していきたいと思う」と話した。また訓練担当者は「野外訓練の経験が少ない隊員が多い部隊であるため、基本基礎を徹底することを着眼に訓練に挑んだ。この際、一人一人の隊員が常に問題意識を持ち、部隊一丸となって、野外における指揮所レイ

アウトの考察・設営、取り扱ったことのない各種器材の取り扱い及び情報処理を実施し、新たに情報収集が加わった指揮幕僚活動を演練することがで

シ通群

首都防衛における作戦能力向上

第2回群集中訓練を実施

東部方面システィム通信群は8月26日から9月20日までの間、東方管内の各駐・分屯地、部外中継

所等に展開して令和6年度第2回群集中訓練を実施した。

回指揮事項の是正」「状況

変化に対応した適切な状況判断及びこれに資する幕僚活動」の3点を要望した。

施した。本訓練に先立

ち、統裁官（群長）は「敵を意識した行動」「前

回

